

所信表明への代表質問



所信表明
(令和8年6月)



各議員の動画は
こちらから

多摩市の未来を切り拓き、暮らしを支える施策を！



公明党
渡辺しんじ

力強いリーダーシップで難局打開へ！

問 近年、国際社会はかつてないほど複雑で不安定な局面に直面している。原油価格の高騰、物流の混乱、物価上昇など、市民生活に直接的な影響を及ぼしている。地方自治体は、国際情勢の影響を最前線で受け止め、市民の暮らしを守るための施策を着実に進める責務がある。この難局を打開するための対策を伺う。

答 市内への影響を把握しつつ、国や都の事業の活用や連携を取りながら、必要な対策に取り組んでいく。

問 一国のリーダーの思想、行動によって、その国の未来が大きく左右される。市長が考える、理想のリーダー像を伺う。

答 独善的な思考を排し、誠実、責任感、実行力、柔軟な対応を備え、多様な意見を尊重しながらバランス感覚を持つことが重要と考える。

市民サービス向上で活力あるまちへ！

問 昨今、在宅避難を推奨しているが、大規模災害を想定した際、避難所の拡充は不可欠。ペット同行避難や校庭を活用した取り組みを進めてもらいたい。見解を伺う。

答 地域防災計画に位置付けしている部分もある。状況に応じて対応していく。

問 補聴器補助の導入検討について、現時点での見通しを伺う。

答 具体的な実施時期を示すことはできないが、制度設計に向け、着実に進めていく。

問 「孤立・孤独対策」を市全体の政策としてどのように体系化するのか伺う。

答 見守り活動の整理・統合を図り、市全体として体系的に構築していく検討を進める。

問 健幸ポイント事業「TAMAるんるん♪」のポイント付与は抽選。「必ずもらえる」にならないか伺う。

答 他自治体の取り組みを研究して、検討していく。

問 放課後子ども教室の法人委託運営移行に際し、現ボランティアスタッフのやる気を削ぐようなことは絶対にあってはならない。見解を伺う。

答 移行検討の際は、事前にボランティアスタッフリーダーと意思疎通を図りながら進める。

問 宿泊施設不足は市内消費の機会損失につながっている。何としても宿泊施設の誘致を実現させてもらいたい。市の意気込みを伺う。

答 公共、民間の土地に関わらず積極的に取り組む。

人口減少時代を見据えた多摩市の将来像を問う

持続可能な地域づくりと命を守る施策

問 人口減少や少子高齢化が進む中、単に人口を増やすだけでなく、地域社会を支える担い手をどう育て、どのようなまちを次世代へ引き継ぐのか。また、猛暑や災害、物価高騰、地域医療など、市民が日々感じている不安にどう向き合い、命と暮らしを守る施策を進めるのか。

答 「命を守り、地域を守り、仕事を守る」を基本に、市民一人ひとりが安心して暮らし働き続けられる環境を整え、持続可能なまちを次世代へ引き継いでいく。また、健幸まちづくりや地域協創を推進し、多様な主体と連携した地域づくりを進める。猛暑対策では学校体育館空調整備や高齢者の熱中症対策、防災では避難所環境の改善や地域防災の担い手づくりを進めるほか、日本医科大学多摩永山病院についても、地域医療の拠点として現在の機能を守りながら建替え実現に取組む。また、市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、地元企業や都市農業、公共交通など、地域を支える基盤を守ることが重要であり、力を入れていく。

子どもと地域資源を生かしたまちづくり

問 人口減少時代だからこそ、子どもたちが夢や希望を持って挑戦し、地域の中で多様な体験を重ねながら成長できる環境づくりが重要である。多摩市の豊かな緑や公園、遊歩道、地域活動などの財産を生かし、暮らしそのものの魅力をどのように高め、次世代へ引き継ぐのか。また、新庁舎整備やDXを、効率化だけでなく、市民に寄り添う行政サービスへどう結び付けるのか。

答 すべての子どもの無限の可能性を引き出し、どのような環境に生まれ、暮らしていても、自分らしさを見だし、未来への希望をもって子どもたちが成長していけるよう、引き続き支援していく。また、スポーツや文化、自然体験など多様な活動機会を広げ、地域全体で子どもの育ちを支える仕組みづくりを進める。ニュータウン再生では、暮らしの質や地域コミュニティを重視し、市内事業者や地域団体と連携しながら、まちの魅力向上と地域経済の活性化を図る。さらに、新庁舎整備とDXでは、市民の利便性向上と業務改革を進める一方、デジタル化によって生み出された時間や人員を、対面相談やアウトリーチ、デジタル機器に不慣れな方への支援などへ振り向け、誰一人取り残さない行政サービスの実現をめざす。



自民党
いいじま文彦